

令和元年度無線設備試買テストの結果概要

令和元年度無線設備試買テストにおいて購入した機器の測定結果は下表のとおりです。

市場から購入した 149 機種中、137 機種において 1 機種につき 2 台とも「著しく微弱」（法令に定める一定の強度以下）の範囲を超えることが確認されました。これらの無線設備については、一般消費者の方への情報提供の一環として、総務省電波利用ホームページにおいて、測定データや写真等を公表しています。

(<http://www.tele.soumu.go.jp/j/adm/monitoring/illegal/result/index.htm>)

なお、発射する電波が「著しく微弱」の範囲であった機種は、FM トランスミッタ計 12 機種でした。

また、製造業者名や型式名等の記載が無かった機種については、すべての機種が「著しく微弱」の範囲を超えていました。

無線設備の用途	測定機種数	うち「著しく微弱」の範囲を超える機種数
トランシーバ	39	39
FMトランスミッタ	34	22
リモコン	17	17
ビデオトランスミッタ	11	11
ワイヤレスチャイム	9	9
通信機能抑止装置（ジャマー）	8	8
ワイヤレスマイク	7	7
ベビーモニター	4	4
防犯アラーム	3	3
魚群探知機	2	2
ドッグマーカー	2	2
ワイヤレスカメラ	1	1
キーレスエントリー	1	1
ラジコン	1	1
釣りセンサ	1	1
コードレス電話	1	1
オーディオトランスミッタ	1	1
気象計	1	1
水検出器	1	1
風速計	1	1
ポケベル	1	1
キーファインダー	2	2
屋内ナビ	1	1
合 計	149	137